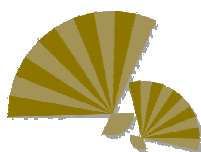


平成21年度

事業報告書

自 平成21年4月1日
至 平成22年3月31日



財団法人 地域伝統芸能活用センター

平成 2 1 年度事業報告書

I. 事業の概要

平成 2 1 年度は、第 1 8 期事業年度として、下記の事業を実施し、所期の成果を挙げることができた。

- ① 地域伝統芸能等を活用した行事の実施
- ② 地域伝統芸能等を活用した行事の支援
- ③ 高円宮殿下記念地域伝統芸能賞等の表彰
- ④ 地域伝統芸能等の海外への広報宣伝
- ⑤ 地域伝統芸能等に関する情報の収集と提供
- ⑥ 地域伝統芸能等を活用した行事の実施による観光及び地域商工業の振興に関する調査・研究

事業の実施に際しては、観光立国推進基本法に基づく観光立国推進基本計画（平成 1 9 年 6 月閣議決定）において当財団の役割が明記されており、この趣旨に沿って地域の伝統芸能や伝統行事を活用した取り組みを推進した。

II. 事業の実施状況

1. 第 17 回地域伝統芸能全国フェスティバルとっとり及び第 9 回地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会ととりの開催

(1) 開催概要

全国フェスティバル及び豊かなまちづくり大会は、日本各地に受け継がれてきた伝統芸能等の公演を通じて観光及び地域商工業の振興と伝統芸能の活性化を図ることを目的として毎年開催しているものである。平成 2 1 年度は、鳥取県鳥取市において、当財団と鳥取県及び鳥取市との主催により、1 0 月 1 0 日（土）及び 1 1 日（日）の 2 日間、開催した。

初日の10日には、メイン会場である「とりぎん文化会館・梨花ホール」において、当財団名誉総裁である高円宮妃殿下のご臨席を仰ぎ、開催記念式典と表彰式を挙行し、引き続き、伝統芸能の公演が行われた。同日夕刻には、「出演者交歓の夕べ」を鳥取市内ホテルにおいて開催した。とりぎん文化会館においては、地域伝統芸能の公演に併せ、地域伝統工芸展、観光物産展等を開催した。

また、外国人観光客の誘致を図るビジット・ジャパン・キャンペーン事業により、韓国と台湾の伝統芸能団体に出演していただくと共に、韓国、台湾、中国及び香港の旅行会社及び観光関係マスコミを招請し、メイン会場での公演見学、鳥取県周辺の視察、日本の宿泊・旅行関係者との意見交換を行った。

この全国フェスティバルは日本財団の助成を、また、豊かなまちづくり大会は財団法人JKAの補助を受けて実施したものである。

概要は、次のとおりである。

- 1) 名称 第17回地域伝統芸能全国フェスティバルとっとり
第9回地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会とっとり
愛称 日本のまつり・2009鳥取
- 2) テーマ 鳥取まつり三昧 「祭りをせんとや 生まれけむ 踊りを
せんとや生まれけむ」
- 3) 期間 平成21年10月10日(土)～11日(日) 2日間
- 4) 会場 鳥取県鳥取市
とりぎん文化会館・梨花ホール(メイン会場)
コカ・コーラウエストスポーツパーク(サブ会場)
- 5) 主催 財団法人地域伝統芸能活用センター、鳥取県及び鳥取市
- 6) 後援 国土交通省、観光庁、経済産業省、文化庁、農林水産省
総務省、日本政府観光局(JNTO)、NHK
- 7) 助成 日本財団
- 8) 協賛 財団法人JKA
- 9) 出演団体 県外18、県内145、海外7：合計170団体、
出演者数合計 3,299名

1 0) 会場の観客数 約 1 万 5 千人 (2 日間の合計)

1 1) 全体の来場者数 約 1 3 万 3 千人 (2 日間の合計)

若桜街道、鳥取駅前風紋広場、食のみやこ鳥取県フェスタの催しを含む催し全体の来場者数である (鳥取県による集計)。

(2) 主な催事内容

1) 地域伝統芸能公演・開催記念式典・表彰式・地域伝統工芸展等

①平成 2 1 年 1 0 月 1 0 日 (土)

(メイン会場) とりぎん文化会館・梨花ホール

○開催記念式典・表彰式 (14:30~15:15)

開催記念式典・表彰式においては、主催者である当財団中村会長、鳥取県平井知事の挨拶に続き、ご臨席の高円宮妃殿下からお言葉を賜った。その後、来賓の観光庁本保長官、経済産業省商務情報政策局富田審議官から祝辞をいただき、また、同じく主催者である竹内鳥取市長から挨拶をいただいた。

引き続き、平成 2 1 年度 高円宮殿下記念地域伝統芸能賞、地域伝統芸能大賞及び地域伝統芸能奨励賞の表彰式が 6 団体・個人を対象に行われ、受賞者には中村会長から表彰状が、高円宮妃殿下から記念メダルが授与された

○地域伝統芸能公演 (15:15~18:00)

・全国のまつり 1 7 団体・個人

秩父祭 (埼玉県)、藤守の田遊び (静岡県)、登米秋祭り (宮城県)、庄内神楽 (大分県)、大田守邦 (沖縄県) 新潟下駄総踊り (新潟県)、その他の団体が出演。

・鳥取県のまつり 145 団体

麒麟獅子舞、因幡の傘踊り、倉吉打吹太鼓、淀江さんこ節、米子がいな万灯、その他の団体が出演。

・外国のまつり 7 団体

韓国伝統舞踊 (韓国江原道、韓国忠清北道清州市)、中国伝統舞

踊(中国吉林省、中国河北省)、台湾の伝統舞踊(台湾台中県)、ロシア民俗舞踊(ロシア沿海地方)、親衛隊の舞とファンファーレ行進楽隊(ドイツ・ハーナウ市)が出演。

(サブ会場) コカ・コーラウエストスポーツパーク

○オープニングセレモニー (10:10~10:30)

○地域伝統芸能公演 (10:30~15:30)

県外7団体、県内7団体、海外3団体、計17団体が出演。

(市内ホテル)

○出演者交歓の夕べ (19:00~20:15)

地域伝統芸能公演終了後、高円宮妃殿下のご臨席のもと、市内ホテルにおいて「高円宮殿下記念地域伝統芸能賞」、「地域伝統芸能大賞」及び「地域伝統芸能奨励賞」受賞者をはじめ、県内外、海外の出演団体の代表者に多数参加いただいて、「出演者交歓の夕べ」が和やかに開催された。主催者挨拶に続き、来賓の観光庁本保長官から祝辞をいただいた。アトラクションとして、地元のしゃんしゃん傘踊りなどが披露された。

②平成21年10月11日(日)

○地域伝統芸能公演

(メイン会場) とりぎん文化会館・梨花ホール (13:00~17:00)

県外4団体、県内8団体、海外3団体 計15団体が出演。

(サブ会場) コカ・コーラウエストスポーツパーク

(10:30~15:00) 受賞4団体、県外3団体、県内6団体、海外4団体。計17団体が出演。

2) 「日本のまつり・2009鳥取」地方実行委員会等による事業

10月9日(金) ○前夜祭セレモニー：鳥取駅前風紋広場

○前夜祭パレード：若桜街道

10月10日(土) ○おまつりパレード：若桜街道

10月10日(土)・11日(日)

○県民オン(温)ステージ：鳥取駅前風紋広場

○伝統芸能体験教室、「食のみやこ鳥取県フェスタ」の開催

：コカ・コーラウエストスポーツパーク会場

10月11日(日) ○フィナーレパレード：若桜街道

10月10日(土)・11日(日)

○地域伝統工芸展（とりぎん文化会館展示室）

鳥取県の代表的な伝統工芸品の因州和紙、麒麟獅子の獅子頭を中心にお祭りにかかわる伝統工芸品の展示を行い、2日間で約3,300名が来場した（出展者：県内9、県外3）。

○観光物産展（とりぎん文化会館・フリースペース）

鳥取県の物産販売が行われ（出展者：県内9、県外1）、また、県外出演団体の地元観光情報コーナーが設けられ、来場者に観光PRを行った（出展者：県外14、県内1）。

(3)事業の成果

本年度の全国大会は、鳥取市内の二つの会場を中心に開催され、期間中は好天にも恵まれ、2日間で約1万5千人という多数の来場者があり、大きな盛り上がりの中で大成功裏に実施できた。

期間中、市内は、全国各地や近隣諸国の優れたお祭りの披露とそれを鑑賞する多くの市民の熱気で包まれ、多くの観客に伝統芸能文化の素晴らしさ、楽しさを堪能していただくとともに、それらが演じられている地方のお祭りへの関心を高めて、地域の観光振興と商工業の振興にも貢献することができた。

公演には、地元鳥取県内の高校生など郷土芸能に取り組む多くの青少年も積極的に参加し、地域の祭や伝統芸能を保存継承し、発展に結びつけることの大切さについても地域の理解を深めることができた。

地元マスコミの関心も高く、連日、会場での公演や市内でのパレードの様子が、地元の新聞、テレビで大きく報道されたほか、終了後に

は、「伝統芸能を地域活性化の核と位置付けて、地元伝統芸能の継承、発展につなげてほしい」との社説も掲載された。

また、後日、全国大会への出演団体の紹介や公演の様子がNHK衛星放送の番組で全国に放映され、地域伝統芸能の楽しさ、素晴らしさを全国の家庭で直接鑑賞していただく貴重な機会となった。

2. 平成21年度高円宮殿下記念地域伝統芸能賞、地域伝統芸能大賞及び地域伝統芸能奨励賞の表彰

「高円宮殿下記念地域伝統芸能賞」は、地域伝統芸能の保存と継承によせられた高円宮殿下のご遺徳を後の世に永く伝えるため、地域伝統芸能の保存、継承、活用のすべてに抜きん出た功績の認められる団体又は個人を表彰する制度として当財団が平成15年度に創設したものである。

また、「地域伝統芸能大賞」は、多年にわたり、地域伝統芸能等の活用を通じ、観光の振興や地域の商工業の振興に顕著な功績があったと認められる団体又は個人を表彰するため、当財団が平成5年度に創設したものである。

さらに、「地域伝統芸能奨励賞」は、その地域に伝わる伝統芸能を受け継ぐため、日頃研鑽と努力を重ねている将来有望な新人等を発掘し、奨励するため、平成14年度に創設したものである。

今回は、地元自治体等から推薦のあった高円宮殿下記念地域伝統芸能賞及び地域伝統芸能大賞の候補590団体・個人、地域伝統芸能奨励賞の候補91団体・個人の中から、有識者、専門家からなる選考委員会において、次に掲げる団体及び個人が平成21年度の受賞者として選定された。

(高円宮殿下記念地域伝統芸能賞)

秩父祭保存委員会

埼玉県秩父市

(地域伝統芸能大賞)

- ・保存継承賞 藤守^{ふじもり}の田遊び保存会 静岡県焼津市
- ・活用賞 登米^{とよま}秋まつり協賛会 宮城県登米市
- ・支援賞 中山勘治（麒麟獅子頭の制作等） 鳥取県鳥取市
- ・地域振興賞 庄内神楽座長会 大分県由布市

(地域伝統芸能奨励賞)

大田守邦（琉球舞踊・組踊の継承等） 沖縄県那覇市

受賞者の表彰式は、10月10日、鳥取県鳥取市で開催された「第17回地域伝統芸能全国フェスティバルとっとり」及び「第9回地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会とっとり」の開催記念式典において、高円宮妃殿下ご臨席のもとに行われた。

3. 地域伝統芸能等の海外への広報宣伝

地域伝統芸能等の団体の海外派遣による広報宣伝は、従来より行ってきたところであるが、平成16年度からは政府のビジット・ジャパン・キャンペーン事業に積極的に取り組んでいる。平成21年度は、次の5事業を観光庁から請け負い、海外との観光交流の拡大に努めた。

(1) 地域伝統芸能を活用した日中青少年観光交流促進事業

期 日：平成21年9月13日（日）～16日（水）

日中青少年の文化交流を通じて、教育旅行等青少年を中心とする訪日旅行の促進を図るため、日本の高校の伝統芸能団体（秋田県、山梨県、沖縄県の3団体、計53名）を中国に派遣し、両国の生徒による伝統芸能の交流公演等、次の事業を行った。

- ① 上海市内の上海戯劇学院附属戯曲学校で、日本側3団体と中国側団体が、お互いの伝統芸能を披露しあう伝統芸能の交流公演会を実施した。

各学校の生徒、先生方や父兄など多数が観覧し、日中両国の伝統芸能を楽しんだ。

- ② 上海市内において、日本側生徒53名と中国側生徒55名により、青少年相互交流などをテーマにして意見交換を行った。
- ③ 派遣した3団体は、上海市の国際観光フェスティバル「上海旅遊節」に参加し、諸外国の伝統芸能団体とともに、「南京路歓楽週間」における南京路歩行街でのパレードと公演を行った。
- ④ 同行した地元自治体観光関係者及び引率の先生は、市内のホテルにおいて、中国側旅行会社を対象に、訪日教育旅行や日本への観光誘致に関する説明会を実施した。

(2) 地域伝統芸能を活用した日韓青少年観光交流促進事業

期 日 : 平成21年9月17日(木)～20日(日)

日韓青少年の文化交流を通じて、教育旅行等青少年を中心とする訪日旅行の促進を図るため、日本の高校の伝統芸能団体(北海道、神奈川県、愛知県の3団体、計41名)を韓国に派遣し、両国の生徒による伝統芸能の交流公演等、次の事業を行った。

- ① 派遣した3団体は、当初予定していた韓国の高校訪問が新型インフルエンザ対策の関係で中止されたことから、ソウルの在大韓民国日本国大使館公報文化院のニューセンチュリーホールでの公演に予定を変更し、ソウル市民及びマスコミ・旅行関係者に向けて公演を実施した。
- ② 派遣した3団体は、「2009仁川世界都市祝典」に参加し、会場内の劇場ステージで公演を行い、来場した多数の韓国市民の方々に伝統芸能を通じて日本各地の多様な文化と魅力を伝えた。
- ③ 同行した地元自治体観光関係者は、おまつりの会場内に観光案内ブースを設営し、日本への観光誘致のPRを行った。

(3) 地域伝統芸能を活用した日本・香港青少年観光交流促進事業

期 日 : 平成21年11月11日(水)～15日(日)

重点市場12カ国・地域のうちでも大きな伸びを示している香港からの訪日旅行促進を図るため、沖縄県の伝統芸能の保存継承に取り組む大学生を中心とする団体（琉球大学の琉球伝統芸能研究クラブの学生、計15名）を香港に派遣し、伝統芸能公演の公演等、次の事業を行った。

- ① 派遣した団体は、香港中文大学、香港理工大学の2校を訪問し、大学生及び生徒を対象に「琉球舞踊」及び「沖縄民謡」の伝統芸能公演を行い、日本の伝統文化の魅力をPRした。
- ② 公演終了後、訪問先において、青少年交流として参加団員と現地の大学生・生徒の代表との間で意見交換を行った。
- ③ 市内のショッピングセンター2ヶ所で、一般市民を対象に伝統芸能公演を行い、あわせて、同行した地元観光協会関係者は、日本への観光誘致のPRを行った。
- ④ 旅行会社向け観光セミナーとして、市内のホテルにおいて地元旅行会社、観光関係マスコミを対象に訪日観光旅行のプロモーションを実施し、その際に、アトラクションとして、派遣団体による公演を行った。

(4)「まつりイン台湾2009」における伝統芸能を活用した台湾からの観光客誘致事業

期 日：平成21年12月5日（土）～7日（月）

- ① 台北市内中心部にある特設会場で開催された「まつりイン台湾2009」に、北海道の「アイヌ古式舞踊」、宮城県の「仙台すずめおどり」、千葉県の「佐原囃子」、岐阜県の「美濃花みこし」及び熊本県の「八代妙見祭（亀蛇舞）」の5つの地域伝統芸能団体、計68名を派遣し、多くの観衆の前で公演し、日本各地の伝統芸能文化の魅力を直接に伝え、訪日旅行への関心を高めた。
- ② 台湾の方々との交流を深めるため、祭りの会場内に「ふれあい広場」を設営し、出演者との記念撮影、踊りの講習会、「タンチョウヅル作り（折り紙）」、「こけしの絵付け」など地域の特産品

等を利用した体験教室などを開催した。

- ③ 会場内に、各出演団体の地元観光PRブースを設け、同行した地元自治体等観光関係者が、観光紹介や観光パンフレットの配布等の訪日観光誘致活動を行った。

(5)「地域伝統芸能全国フェスティバルとっとり」を活用した国際交流プロモーション事業

期 日 : 平成21年10月9日(金)～13日(火)

- ① 韓国及び中国より伝統芸能団体各1団体、計2団体を招聘し、10月10日と11日の2日間にわたり「地域伝統芸能全国フェスティバルとっとり」で公演していただき、国際色豊かな全国フェスティバルとなった。
- ② 中国、香港、台湾、韓国の国、地域から旅行会社11名、観光関係マスコミ9名、計20名を招聘し、鳥取市での地域伝統芸能全国フェスティバルの見学、鳥取県を中心とする観光地(鳥取市内、米子市皆生温泉、松江市内等)の視察・取材、伝統芸能・工芸体験、訪問先の観光・宿泊施設関係者や旅行会社との意見交換会等を行った。帰国後、マスコミによる紹介記事の形で鳥取県など山陰地域の観光魅力の情報発信が行われた。

4. 地域伝統芸能等に関する情報の収集と提供

(1)DVD「日本のまつり— 近畿編 —」の発行

当財団では、貴重な日本の伝統文化である全国のお祭りや伝統芸能行事等に関するDVD「日本のまつり」を、財団法人日本宝くじ協会の助成を受けて制作し、全国の主要図書館、教育機関等に寄贈し、広く一般の方々に紹介する活動を行っている。

これまで、平成16年度に東北編、17年度に九州・沖縄編、18年度に東海編、19年度に中国地方編、20年度に信越・北陸編を制作した。

平成21年度は、第6弾として、大阪府、京都府、滋賀県、兵庫県、奈良県、和歌山県の春夏秋冬の祭りを収録した「日本のまつりー近畿編ー」を制作し、全国の主要図書館等の公的機関約1700カ所に無償で提供した。配布先からは、貴重な資料として大切に保存し、広く県民（住民）の利用に供したい旨のお礼の連絡をいただいた。

(2)ホームページの運営

当財団のホームページについては、日本の主な地域伝統芸能の紹介に加え、21年10月に鳥取県鳥取市で開催した地域伝統芸能全国フェスティバル・まちづくり大会の報告や上記「日本のまつりー近畿編ー」の紹介を掲載するなど新たな情報の提供に努め、内容の改善、充実を図った。

Ⅲ.総務関係事項

1. 基本財産等の状況

平成22年3月19日に開催された理事会で財団法人JKAからの基金（150,000千円）について運用財産から基本財産への繰入れに関する議決がなされた。その後、財団法人JKAに申請し、承認が得られたので、平成21年度末に当該基金を基本財産に繰り入れた。

①平成21年度末における基本財産 593,060千円

②平成21年度末における運営強化資金(基金) 300,000千円

内 訳 日本財団 (300,000千円)

①と②の合計 893,060千円

2. 賛助会員の状況

45（団体43、個人2）

3. 会議の運営状況

①平成21年度 第1回 通常理事会、評議員会

平成21年6月10日（水）14時00分～14時50分 評議員会

14時50分～15時15分 理事会

[審議事項]

第1号議案 平成20年度事業報告及び決算

第2号議案 基本財産等の管理運用状況

第3号議案 平成21年度補助金等の受入れ及び平成22年度補助金等の要求

第4号議案 評議員、理事の異動

第5号議案 平成22年度の「地域伝統芸能全国フェスティバル」、「地域伝統芸能による豊かなまちづくり大会」の開催地の決定

第6号議案 その他

②平成21年度 第1回 臨時評議員会

平成21年8月6日（木） 14時00分～14時20分

[審議事項]

第1号議案 議長の選任

第2号議案 議事録署名人の選任

第3号議案 理事の異動

③平成21年度 第2回 通常理事会、評議員会

平成22年3月19日（金）14時00分～14時50分 評議員会

14時50分～15時15分 理事会

[審議事項]

第1号議案 平成22年度事業計画（案）及び収支予算（案）

第2号議案 平成22年度補助金等の受入れ

第3号議案 任期満了に伴う評議員、理事及び監事の選任等

第4号議案 運用財産から基本財産への繰入れについて

第5号議案 その他